1995 年 8 月 10 日第三種郵便物認可（毎週 1 回水曜日発行）
2025 年 7 月 18 日発行ＳＳＫＳ増刊通巻第 9330 号　結の実通信 NO.140

SSKS　　VOL.140

結の実通信140号

特定非営利活動法人結の実

ご挨拶

理事長　　小林　輝彦

2025 年度最初の通信となります。今年度もよろしくお願いいたします。5 月 24 日に通常総会が開催され、全ての議題が承認されました。会員の皆様ご協力ありがとうございました。今回は定款変更案も承認され、大切な変更が行われることになっております。詳細については、「事務局からのお知らせ」欄で別途報告しておりますので、そちらをご覧ください。

昨年度より、ホーム・まなが 365 日運営となり、ホーム・ゆいとあわせて健康管理や非常災害対策など、様々な取り組みを行っていく予定で、事業計画上でも取り上げております。その中でも、今回は特に「余暇活動」について触れたいと思います。

皆様ニュース等で、訪問介護事業所の経営が厳しいと聞いたことがあるかもしれません。まなゆいの入居者も、訪問介護事業所と契約して移動支援（ガイドヘルパー）を利用している方が何人かいらっしゃいますが、最近は、ヘルパーさんがいないという理由で、日数が減ったり、断られたりということが増えてきま

した。その他の余暇活動に関わる社会資源でも、人手不足が問題になっているという話を聞きます。そのような中で、グループホームとしての余暇をどうしていくか、再検討していく必要性を感じています。

土日祝日など、日中対応を行っていますが、入居者によって様々なニーズがあり、それらに全て答えるために、マンツーマンで対応していくことは難しいです。体制が取れたとしても、ホーム内での生活支援と外出支援は性質の異なるものであり、外出希望の入居者に対する外出同行を職員にお願いするためには、事故等起きないように別途研修も必要で、その余裕もなかなかありません。

厳しい状況ではありますが、まずはできることから始めていきたいと考えています。今回の通信の記事に載っているように、イベントを企画して入居者の皆様が楽しめる機会を増やしたり、個々の入居者ごとの様々な社会資源や人脈を活かして外出機会を増やしたりしていくつもりです。例え遠出ができなくても、毎日の生活の中で、入居者の皆さんがそれぞれを楽しめるような何かを、一人一人に見つけられたらと考えています。

結の実は地域の障害がある人々や子どもたち、高齢者などに対して、必要とする福祉サービス等を提供し、社会的・経済的自立を支援するとともに、社会参加促進に関する事業を行い、障害の種類・程度に関わらず、すべての人々がゆたかに暮らせる地域社会づくりと福祉の増進に寄与することを目的としています。

グループホーム運営方針

① 障がいの程度にかかわらず、入居者が健康で自立した生活が営めるように支援を行なう。

② 入居者の個性を理解し、それぞれの入居者が今まで営んできた生活環境を尊重した支援を行なう。

③ 入居者の人権を擁護し、就労や社会参加等充実した社会生活が送れるように、関係施設や地域と連携していく。

法人沿革

1988 年 9 月　課外グループ「生活ホーム結」設立

1991 年 4 月　通所訓練の場「通所施設・結」開所

1994 年 7 月　宿泊訓練「生活ホーム・結」開始

2001 年 9 月　「特定非営利活動法人　結の実」認可

2004 年 4 月　男性ホーム「ホーム・まな」を開所

2008 年 3 月　女性ホーム「ホーム・ゆい」を開所

♫ ♫ ホーム・ゆいカラオケ外出 ♫ ♫

ゴールデンウイークの後半 5 月 4 日。ゆいのメンバーで久しぶりに近くのカラオケ店に行きました。

着くなり、早速歌い始めて、マイクを離さないメンバーが 2 人。アイドルやアニメの曲など熱唱していました。

笑顔で歌う Y さん

食べ終わってほっと一息 M さん

みんなでわいわい

どちらかというと、歌うより、食べるのを楽しみにしていた残りのメンバー。食べ物のメニュー表を見ながら、合間で歌ったり応援したりしていました。

ゆいのアイドル I さん

メニューが気になる N さん

落ち着いて応援 E さん

いっぱい歌って、美味しく食べて、皆さん満足していた様子でした。これから暑い季節になりますが、暑さを避けながら皆様が笑顔になれるお楽しみ企画ができたらいいですね。

12 回目となる「紹介」ページですが、今回は特別編　ゆい非常勤職員小川洋子さんの介護福祉士合格体験記です。

ホーム・ゆいにて週 3 日勤務、今年で 6 年目の小川洋子です。子ども 3 人（高 3 中 3 小 5）の子育て真っ最中ですが、やっと一段落ついたので、仕事や子育ての合間に自分の時間を取れたらと、色々な研修など受けている中で、町田市介護人材センターの方に相談にのっていただき、初任者研修を無事に終了することが出来ました。その間仲良くなった方々と仕事の話や介護福祉士の資格を取るには？など話しているうちに、実務者研修を受講し、年明けの試験に間に合うことがわかり、昨年の夏から一気に忙しくなりました。

実務者研修を受ける中で、レポートはたくさんあるし、家族にも協力してもらい「今日は帰りが遅くなるからよろしくね」と時間を作りました。子供の具合が悪くなることもありましたが、どうにか実務者研修も終了することが出来ました。

週 3 日ゆいで勤務して、帰ると子育てメインになるので、毎日勉強するにはどうしたらいいものやらと、試行錯誤でした。効果があったのは本屋での立ち読みで、ちょっと見たりすると頭に入ったりしましたが、やはりインプットアウトプットが難しく、子供もテスト勉強の時こんなに大変なのかと改めて思い知りました。

年末模擬試験を受けて、もう少しの結果となり、苦手分野の分析などして、覚えてもまた間違えるを繰り返すので、子供に暗記方法を聞いて試したり、自分に合う方法を見つけるのも面倒で・・・。試験が迫る 2 週間切ると慌てだして、隙間時間に苦手対策をしたりしていました。

寝る前に勉強しようものなら、そのまま寝てしまうなど、勉強ははかどる方ではなかったけれど、当日体調を整えて試験に向かうことができたので良かったです。子供たちも同じ日に英検の試験があり、親子で試験勉強したのもこれが最初で最後かと。子供たちはまだまだ勉強が続くので、応援してあげようと思いました。

町田市知的障がい者グループホーム等連絡会での活動について

地域によっては、グループホームのネットワークが構築されている場所があり、町田市にも「町田市知的障がい者グループホーム等連絡会」が活動を行っています。結の実も、設立当初から活動に関わっており、2025 年度からは事務局を引き受けることになりました。

連絡会は、グループホーム同士の情報交換や研修の開催など、大切な役割を果たしています。グループホームに求められるものが多くなってきている中、その中で得た情報をまなゆいに還元できたらと思います。

事務局からのお知らせ

☆ 2025 年 3 月 29 日に 2024 年度第 5 回理事会を開催しました。第 3 四半期会計報告、各種委員の承認について、総会討議事項について話し合いを行いました。

☆ 2025 年 4 月 27 日に税理士による会計監査が行われました。監査の結果、適正な会計処理が行われていると報告を受けました。

☆ 2025 年 5 月 8 日監事による内部監査を行いました。業務監査を行い、①事故やヒヤリハットを減らすための取り組みについて②虐待や不適切ケアを起こさない取り組みについて③非常災害対策について④中堅職員の育成について⑤結の実の魅力を発信していく試みについて　以上 5 点の検討事項についてご指摘いただきました。

☆ 2025 年 5 月 10 日に、2025 度年度第 1 回理事会を開催しました。今理事会では、総会討議事項についての確認及び、就業規則改正案についての討議を行いました。

☆ 2025 年 6 月 12 日に、第 1 回感染症対策委員会を開催しました。前回委員会以降の入居者職員の健康状態の確認や感染症関係備品の確認、訪問看護導入について等の話合いを行いました。

☆ 2025 年 6 月 24 日に第 1 回地域連携推進会議をホーム・まなで開催しました。今年度から開催が義務化された会議で、地域の関係者や入居者、入居者家族が会議に参加し、ホーム見学も行いました。会議の内容に関しては、ホームページで後日議事録を公開する予定です。下半期に、第 2 回会議をホーム・ゆいで開催します。今後もオープンなホーム運営を心がけます。

☆2025 年度通常総会を 2025 年 5 月 24 日に開催しました。
討議事項①2024 年度事業報告案、決算報告案
　討議の結果承認されました。2024 年度の財務諸表に関しては、結の実ホームページで閲覧することが出来ます。

討議事項②2025 年度事業計画案、収支予算案
　討議の結果承認されました。

討議事項③結の実第 13 期役員体制案
　第 13 期役員体制が承認されました。2017 年度から理事を引き受けていただいていた市村先生が今期で退任となりました。先生長い間ありがとうございました。新役員体制は以下の通りです。

理事　小林輝彦　　（再任）
　　廣瀬礼子　　（再任）
　　小島恵見　　（再任）
　　佐藤ひかり　（新任）
監事　貞冨護　　（再任）

討議事項④結の実定款変更案
　結の実定款変更案が承認されました。
　この変更により、2026 年度から会員が正会員と賛助会員の 2 種類に別れることとなります。2025 年度は今まで通りの会員制度です。

正会員・・法人の目的に賛同して入会した個人または団体。総会における議決権を所持します。年会費は一口 3000 円となります。口数に関わらず、一人につき議決権は 1 票です。

賛助会員・法人の目的に賛同し、賛助するために入会した個人または団体。総会の議決権は所持しません。年会費は一口 2000 円となります。

※2025 年度から新しい会員制度になると誤解された方が何名かおられました。事務局の説明不足があったことをお詫び申し上げます。改めて、2026 年度が近づいたころに、新制度に基づく会員更新・新規会員募集のお知らせを行いたいと考えております。

特定非営利活動法人結の実の法人理念や事業運営方針の趣旨にご賛同いただき、ご支援して下さる方々の入会及び寄付をお願い申し上げます。

年会費　2000 円

郵便振替口座 00110－2－355729

口座名義

特定非営利活動法人結の実

＊ 郵便振替用紙に、お名前・住所・電話番号・○○年度会費として、のご記入をお願いします。

＊ 入会時期に関わらず、会員資格は年度ごとの更新となります。

寄付　6 名　（2025 年 6 月 30 日現在）

榎本千里　明滝光子　難波道子　山本由美子　安達利恵子　成沢超子

2025 年度　更新会員　42 名　（2025 年 6 月 30 日現在）

安達利恵子　明滝光子　石川薫　石川紀子　市村たづ子　入山公子　岩浅和美
岩浅義昭　榎本節子　大西一一　大西元　大西常子　カトー保険事務所　北澤正博
北澤乃里子　北川悠子　小島恵見　坂口聖子　貞冨篤信　貞冨加代子　貞冨護
貞冨久美子　貞冨結菜　貞冨和希　成沢超子　難波英勝　難波雅英　難波道子
野本きみ子　橋本和子　廣瀬礼子　藤田浩子　藤巻秀子　増田雅子　御園由美子
山本隆弘　山本剛　山本由美子　山本康博　安田靖子　吉村光子　小林輝彦

2025 年度　新規会員　3 名　（2025 年 6 月 30 日現在）

榎本千里　大里規子　佐藤ひかり

（順不同・敬称略）

☆ご支援まことにありがとうございました☆

結の実通信 140 号
『編集』特定非営利活動法人結の実　事務局
〒194-0046　東京都町田市西成瀬 1-39-13
TEL/FAX：042-725-8693
E - mail　：yuinomi@star.ocn.ne.jp
ホームページ https://yuinomi.org
『発行』特定非営利活動法人　障害者団体定期刊行物協会
〒157-0072　東京都世田谷区祖師谷 3－1－17　ヴェルドゥーラ祖師谷 102 号室
TEL　：03-6277-9611　FAX　：03-6277-9555　定価 50 円